

児童発達支援事業所における自己評価結果
(公表)

別添資料5

公表: 2025年 1月 7日

事業所名 エンタメ療育スタジオRough&Diamonds

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		段差や敷居はあるが移動の際は指導員がついて安全に配慮している 所内段差やドアなどに関しては指導員が常に目配せ・サポートを行なっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		毎日3回のミーティングを行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6		外部研修は行っていないが、重説を再度皆で確認する
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		外部研修への積極性。スキルアップ時間での社内研修 事業所内研修や外部研修にも積極的に参加する機会を設けている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		日々のレスポンスで保護者とコミュニケーションの時間をとっている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		ケア記録の入力	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		毎回メニューに入れ込んだ支援を行っている 支援計画が更新された際は、共有しそれを元に内容を設定	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		誘導の指導員がメインで考えるが、サポートの指導員の意見も聞き変更している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		季節や子供によって変えている メニューごとの内容を振り返り、次回のステップを実践 子どもたちの成長や心境の変化に合わせてメニューを調整	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9		2つのスタジオを活用		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		全体でメニューと支援の共有を行っている レッスン前の全体共有、Googleカレンダーの活用。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		レッスンの不安点を振り返り、ロープレを実施 当日欠席の指導員にも共有できるよう、hugなどのツールも利用しながら共有を行なっている 定時ミーティングで共有	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		半年に一回以上行っている	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている				定期的に関係機関へ訪問し情報交換を行っていることを、定期的にご利用者様へ発信をしていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		必要に応じて実施 ご家族の要望や必要に応じて実施 場合により連携している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		説明会や研修などの参加、参加内容の社内共有	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9		地域のイベント出演 発表会での地域や親族との交流	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		毎回フィードバックを行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	5		今後実施予定
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	契約時に必ず説明 契約時に説明	契約時に説明していることを改めて周知した
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	今後行う予定 レッスンで、きょうだいの参加がある 今後開催予定	兄弟の参加があるため行っている、来月保護者会予定	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域にかかれた事業運営を図っている	8	1	鹿沼店開店のレセプションパーティーを実施 発表会の幅広い宣伝活動	レセプションパーティーを行ったことが該当することを周知	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している				定期的に訓練している旨をご利用者様がよりわかりやすいように開示する工夫をしていく。具体的には相談室へのマニュアルの掲示、訓練報告の発信を行う。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		マニュアルは施設内にあるが、研修等あれば参加したい		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。